

出演者  
永島梨枝子  
宮本 敦

# だってだってのおばあさん

同時上演 **ねえ とうさん**



いつでもどこへでも  
夢ある人形劇を、おとどけます。



## だってだってのおばあさん

原作 / 佐野洋子 (フレーベル館刊)  
脚色 / 宮本 敦 演出 / 西村和子 美術 / 永島梨枝子

5才のねこが98才のおばあさんを魚釣りに誘います。でも返事はいつも「やめておくわ、だって、あたしは98才だもの」そして、ねこは、おばあさんの誕生日にケーキを買いに行き、ろうそくを川に落としてしまいケーキの上には5本だけ。「おばあさん、5才になっちゃったね」「あら、ほんとだね。あたしの5才のお誕生日!」

次の日から、ねことおばあさんは一緒に魚釣りに出かけます。



## ねえ とうさん

作 / 佐野洋子 (小学館刊)  
脚色 / 宮本 敦  
演出・美術 / 永島梨枝子

長い冬が終わり、くまのとうさんがおうちに帰ってきました。自然の木を生かした舞台とクラシックギターの弾き語りのにせて、素朴で温かい世界を届けます。

クラルテHP掲載の「おひさま劇場」作品も上演可能です。お問合せください。

原作 / 『おきやく、おことわり?』『おとまり、おことわり?』(岩崎書店刊)  
ボニー・ベッカー文、ケイティ・マクドナルド・デントン絵、横山和江訳

# おきやく、おことわり?

企画 / 鶴巻靖子 脚色 / 宮本敦 演出 / 奥洞昇 美術 / 永島梨枝子 音楽 / 一ノ瀬季生 制作 / 古賀恵子 出演 / 鶴巻靖子・茨木新平



## 大きなクマと小さなネズミの物語。

森の家に独りで暮らすクマは、毎朝同じ様に目を覚まし、同じ様に椅子に座り、同じ様にミルクティーを飲みます。ただただ静かに誰にも邪魔されないことなく「キチンと」生活している事が何よりの幸せ。今日もミルクティーを淹れ、そのあまーい匂いに満足気です。

そこへミルクティーのあまーい匂いに誘われて、一匹のネズミがやって来ました。このネズミは何にでも興味津々、好奇心でいっぱい。

ネズミはクマの家の扉をノックします。が、大事なお茶の時間を邪魔されて、クマは強く追い返します。

### 「おきやく、おことわり!」

それでもネズミはあきらめません。追い返されても追い返されても扉をノックし続けて、とうとうクマも根負けしてネズミにミルクティーを淹れるのですが…。大きな性格も“全く逆”の二人のおかしなお茶会が始まります。さてさて、どうなることやら…。

この人形劇は「おきやく、おことわり?」と「おとまり、おことわり?」の2冊の絵本から創作しました。どちらも、クマのところへネズミが訪ねて来るお話です。絵本ではネズミが訪ねて来る事で、自身の生活リズムを崩され、慌てふためきなながらも「新たな幸せ」を見つけるクマが描かれています。では、そんな風にクマを導くネズミとは一体どんな「人間」なんだろう?そんな興味にかられ、人形劇ではネズミのドラマも膨らませました。クマに追い出されても追い出されても、決してあきらめないネズミ。その強さが少しずつ、クマの心を動かします。

自分をあきらめない強さと、相手をあきらめない強さ、それは人間をあきらめない強さです。現代、人間関係が希薄だと感じる事は多々あります。相手は自分を受け入れてくれるだろうか?と怖れる気持ちが過度に働いてしまう。それは、子どもたちの友達関係の中にもまでも見られます。あきらめずドアをノックし続ける小さなネズミと、心動かされる大きなクマ、二人だけの人形劇に「人間をあきらめない強さ」を込めて届けたいと思います。

演出 / 奥洞昇